

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資民生質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
1	下関市	彦島第1地区		○					<p>29年4月～30年3月 月1回の下校時の声かけ安全みまもり実施 29年5月 ふれあい活動として児童と共に通学路のゴミひろいを実施 29年8月 児童のみまもりについて警察署安全課の方の出前講座を聞く 29年9月 担当地区小学校の花壇の草取りを児童と共にする 29年11月 花壇(小学校)に花の苗を植える 避難訓練の道路上の安全見守り、ふるさと探検の道路上の安全見守り 等その他学校行事に参加する</p>	<p>【成果】 児童との交流が深くなり、顔を合わせると挨拶をお互いにかわすことができるようになった。 一年間のみまもりその他についてお礼の会を児童によって開いてくれた。</p> <p>【課題】 子供との交流は進んだが中学生になると一部の子供しか挨拶をしにくくなる。学校行事には引き続き、続けていきたいと思います。</p>
2	下関市	西部第2地区			○			<p>平成29年9月29日 出向講座 認知症講話会 (8名) しものせき環境みらい館 福本 伶 氏 平成29年10月21日 徘徊者声かけ模擬訓練 見学体験(8名) 清末公民館 平成29年11月25日 出向講座 市民公開講座 (8名) 生涯学習プラザ 江口 恵子 氏 平成30年2月16日 施設見学 経費老人ホーム しゃくなげ園 ケアハウスオリーブ (10名) 平成30年3月8日 出前講座 消費者契約法 相続 遺言 西部公民館 大賀 一慶 弁護士 (18名)</p>	<p>【成果】 ・認知症の方との接し方、対処の方法を事例を基に解り易く学んだ。 ・経費老人ホームの現状、入所状況を把握でき、今後の活動に役立つ ・クーリングオフの具体的事例を学び、資質の向上を図った。</p> <p>【課題】 今後も出前、出向講座に積極的に取り組む</p>	
3	下関市	王司地区	○	○	○			<p>・児童育成活動の推進・・・王司小学校運営協力団体「ようきたね」の支援協力活動で、小学校の「花いっぱいにしよう」で作業を行う。 9月11日 草取り、土の改善(6名) 9月19日 種まきと草刈り(6名) 11月13日 校庭の草刈り、花壇の苗植え(児童と14名全員)</p> <p>・地区民協の研修 東部包括センターの出前講座・・・包括センターについてより深く認識し、地域でつなげるように研修を受ける。(成年後見制度などについて 等) 11月21日(14名全員)</p>	<p>【成果】 ・児童と「ようきたね」会員と共に小学校の「花いっぱいにしよう」活動に参加し、共に協力し、美しく立派な花壇になった。 ・出前講座の研修を受け、より知識が深まり活用できる。</p> <p>【課題】 ・小学校と地域の協力者と連携をより深め、この活動を継続できるように努めたい。</p>	
4	下関市	清末地区	○					<p>・毎月2回実施の給食サービス事業を通して、受給者の安否確認を兼ねて持参、訪問している。 ・別紙要領により、給食サービス事業に携わっているボランティアグループとの連絡交流会を開催。</p>	<p>【成果】 この給食サービス事業は受給者にとっても喜ばれている。配布する民生委員にとっても、安否確認の機会が持てると共に、さまざまな相談ごとを受けることもある。</p> <p>【課題】 27年間続いているこの給食サービスもボランティア団体の会員の高齢化に伴い、ボランティア団体の再編成が望まれる。</p>	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 （児童育成・子育て支援活動）	民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
5	下関市	菊川地区		○	○				<p>・菊川子育て支援センター長より、子供と親と一緒に芋ほりを行うことによって親子のふれあいを深めたいとの要望により始めた事業。 10/25(水) 10:00～11:30 芋ほり実施。民生委員24名、職員2名、子供30名以上とその親が参加。(児童育成・子育て支援活動の推進)</p> <p>・社会見学による知識向上を目的とし、12/8(金)12:00～15:00に美祿社会復帰促進センターを視察。民生委員23名が参加し、受刑者と同じ昼食を食べ、施設見学及び職員からの説明を受けた。(民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供も親も大変喜ばれ、親子のコミュニケーションを深めることができたと感じる。(児童育成・子育て支援活動の推進) ・完璧なセキュリティや更生させるためのカリキュラム等、美祿社会復帰促進センターならではの色を感じた施設だった。普段行くことがない場所のため、皆緊張気味だったが大変良い経験となった。(民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施) <p>【課題】</p> <p>芋の管理(柵を張る、植え付けをする等)を民生委員皆で協力しあっていると、民生委員同士のコミュニケーションを深めることにもつながるため、次回からは全員で取り組んでいきたいと考える。(民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施)</p>
6	宇部市	岬地区		○	○		○	<p>○地区内児童名簿の作成(平成29年11月9日) 各担当区児童委員により世帯票・移動票等により現状を精査、調査する。対象児童は幼児～中学3年生</p> <p>○民児協独自岬小学校児童見守り活動実施(平成29年9月4日) 小学校建て替えによりグラウンド使用不可、よって隣の公園利用する。 昼休み時間(45分)道路横断～公園内の見守り監視 毎週月・火・木を6.7人の児童委員で見守り</p> <p>○児童養護施設の視察研修 5/12(金) 参加者12名 児童養護施設清光園・子ども家庭支援センター清光</p>	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.児童名簿により関係機関・主任児童・児童委員との関係強化 2.地域・学校・児童との関わりの強化 3.委員各自の資質向上・認識の確認強化 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.児童名簿について 名簿は福祉票と同様個人情報取り扱いについては特に注意を払う 2.学校完成までの長期間であること 3.今後の民児協活動への取組の活かし方 	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修 の実施	民生委員・児童委員の活動 の推進	民生委員・児童委員の活動 に関する調査	地区民児協同士の 交流事業の実施		
7	宇部市	見初地区	○		○				<p>(1)地域福祉活動の推進</p> <p>①100周年啓蒙活動 日 時：平成29年5月12日(金)～14日(日) 参加者：見初民協全員 14人(主任児童委員2名含む) 実施内容：一人暮らし・二人暮らし高齢者及び小学校児童全員にリーフレットとティッシュと配布し、PR活動を行った。</p> <p>②校区敬老会(85歳以上高齢者招待) 日 時：平成29年9月23日(土) 11:30～14:00 参加者：50名の内、対象者10名 実施内容：小学生による作文朗読からスタートし、カラオケ等</p> <p>③校区餅つき・輪飾づくり 日 時：平成29年12月23日(土) 9:00～12:00 参加者：約100名(校区民全員対象) 実施内容：餅つき終了後、輪飾づくり実施</p> <p>(2)資質向上に向けた研修 日 時：平成29年10月16日(月) 19:00～21:00 参加者：28名(民生委員と福祉委員の合同研修) 実施内容：認知症サポーター養成講座</p>	<p>(1)地域福祉活動の推進 【成果】高齢者だけでなく、地域全般の人々と幅広く活動し、関係づくりが出来た。 【課題】校区行事に参加しない高齢者や若い人とのかかわりをどうしていくかが今後の課題と考える。</p> <p>(2)資質向上に向けた研修 【成果】民生委員と福祉委員との関係について、少しは関係づくりができた。 【課題】福祉委員の意識もうすく、もっと民生委員と校区の福祉活動について連携をしていかなければならない。</p>
8	宇部市	神原地区		○	○				<p>○子ども委員会との連携・交流 「神原チャレンジ教室」と題し、夏休みにふれあいセンターを中心に、地域住民が参画し、子ども達と交流し、勉強やスポーツ、文化活動を通じて、地域社会の中で子ども達を見守り、育む活動の実施。 ・平成29年7月24日～8月25日 ・児童参加数：24講座、延べ489人 ・地域住民参加者 延べ121人 中学校ボランティア参加者 延べ39人</p> <p>○民生児童委員の資質向上 ・「夢のみずうみ村山口デイサービスセンター」の視察研修 ・平成29年11月6日(月) ・参加者 9人</p>	<p>【成果】 ○児童育成・子育て支援活動については、地区子ども委員会や母親クラブ等関係団体との連携・交流を図り、地域として子ども達を見守り育む環境が醸成できた。 ○新任委員との一体感の醸成、及び資質向上のための視察・研修については、訪問施設の実情が把握でき、それをもとに地域の高齢者との交流について、新たな視点での取り組み方が学習できた。施設の都合で実施日が月曜日ということで参加者が少なかったのが残念であった。</p> <p>【課題】 ○子育て支援活動については、将来にわたって継続していくことが重要である。 ○地区民児協の活動に際して委員同士のチームワークが大切であり、今後とも研鑽を重ねていくことが重要である。</p>

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動に関する調査	地区民児協同士の 交流事業の実施		
9	宇部市	琴芝地区	○					<p>災害時一人も見逃さない運動への取組参加 自主防災組織の中で、民児協の役割組織の効果的運用と活用</p> <p>1.日常の支援活動を災害時に活かせる取組 ①情報交換、諸問題への対処、年間4回見直し、自治会単位での活動 ②行政、関係機関との連携・協働 高齢者の名簿がデータ化された。 ③研修会並びに出前講座(年4回)高齢者が住み慣れた地域で安心して、要援護者台帳他講習会、研修会、施設訪問等。【アスワン山荘、小規模多機能()】</p> <p>2.校区自治会連合会、ボランティア団体、校区地域・保健福祉支援チームと福祉委員と支援活動年2回【参加者100「名くらい」】3月9日年2回自主防災会</p> <p>3.ふれあいネットワークによる見守り支援活動</p> <p>4.民生委員のスローガン「支えあう 住みよい社会 地域から」頑張りたい。</p>	<p>【成果】 事業は災害時一人も見逃さない運動への取組として、要援護者と避難支援を一つのセットとしたが、支援者が高齢者だったり、人員不足などがあった。</p> <p>【課題】 自主防災組織における要援護者の緊急援助活動は自治会単位での活動が最適で、そのための、先ず要援護者・支援者の情報共有は評価できますが、個人情報の課題があると感じています。</p>
9	宇部市	上宇部地区	○	○	○			<p>1.施設訪問(山口鑑別所)・参加者(民生委員20名、福祉委員4名、社協1名) 鑑別所の在り方、紹介がなくとも、相談できる。施設内を見学。</p> <p>2.マイナンバー登録研修(福祉委員さんとも研修) 市民課・ICT推進課により、研修(民生委員23名・福祉委員5名) マイナンバーの必要性、登録の仕方等を研修</p> <p>3.母子保健推進協議会への活動参加支援(育児の会行事のお手伝い5名・5回) 親子のふれあいを通じ民生委員のPRをして、育児相談に応じた。 民生委員自ら、赤ちゃん訪問をして子育て支援の実施。(4名・16回)</p> <p>4.4月入学予定児童の未就学健診に参加。 保護者に対して、民生委員のPR、高齢者のみでなく、校区全体の相談窓口であることを啓発チラシを作成配布し、説明し意見を聞いた。</p> <p>5.地区包括支援センター訪問 センターのすぐ近くに、移転されたのを機に、訪問研修をした。(26名参加) 民生委員と行政とのつながりが、身近になったことを感じた。</p>	<p>【成果】 ・民生委員としての資質向上ができた。 ・研修を通して福祉委員さんとも、顔なじみができた。 ・行政とのつながりが身近になり、相談がしやすくなった。 ・地域の民生委員としてのPRができ、若い方につなげた。</p> <p>【課題】 ・勤務されている委員がなかなか研修に参加できないことが課題である。 ・日曜日や夜の研修ができればと思っている。</p>

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
10	山口市	大殿地区	○	○	○	○		(1)地域福祉活動の推進 ⇒ 通年 (2)児童育成・子育て支援活動の推進 ⇒ 通年 (3)地区民児協組織体制の強化 ・研修の実施 H29.6.6 小地区見守り訪問グループ員研修会 60人 H29.6.7 小学校長・中学校長・山口県警との懇談会 30人 H29.11.8 山口市消費生活センター 出前講座 30人	【成果】 研修の実施については、今日的な課題を取り上げ(特に消費生活センターの出前講座については高齢者の消費者トラブル事例の講話)、会員の承知徹底を図り、体制の強化が図られた。 【課題】 二地区の民生委員が欠員であったが、内1個所(中後河原地区)は選任できた。残る地区(木町地区)の選任に努めたい。	
11	山口市	仁保地区					○	【日時】 28.12.5(第1回)～30.1.20(第8回) 【回数】 8回 【参加者数】 毎回15人程度 【実施内容】 共生社会の実現に向け、地域のニーズに合うように行政、専門の方々との指導を受けながら、地元福祉推進会議の方々との定例的に協議し事業を実施した。 ☆仁保大農業まつにおいて福祉相談窓口実施 ☆平成30年3月8日(木)先進地視察研修	【成果】 ☆福祉相談窓口実施については、5組の相談あり。 ☆平成30年2月17日(土)第13回人づくり、地域づくりフォーラムに参加(参考になる) ☆先進地視察実施(参考になる) 【課題】 ○地域の方々のボランティアに対する認識度 ○どのような地域区割で実施していくか	
12	山口市	鑄銭司地区	○					平成30年2月24日(土) 10:00～11:30 参加者 71名 梅光園の「梅ちゃん一座」による認知症予防・詐欺防止被害の実演	【成果】 地域での認知症の方への対応を学べた。 詐欺から高齢者を守る方法 【課題】 早く異変に気づかないといけないこと。	
13	山口市	小郡地区	○					H29.6.1 事業企画会議 事業区分の協議 9名 「地域福祉活動の推進」に決定 H29.6.17 講師依頼 宇部フロンティア大学非常勤講師 中島嘉哉 氏 演題: 地域におけるコミュニティづくり ～災害時、ひとりも見逃さないために～ 民生児童委員と福祉員の連携事例 津市上区へ依頼 H29.7.3 打ち合わせ会議 事前準備品 当日役割 9名 H29.8.1 打ち合わせ会議 出席人数(中間)、当日の流れ等確認 9名 H29.8.18 打ち合わせ会議 出席者最終確認、グループ分 4名 H29.8.21 資料作成 2名 H29.8.22 研修会 53名	【成果】 ・民生児童委員と福祉員の役割の違い ・情報の共有部分 ・民生児童委員と福祉員の連携の取り方を習得 ・関係機関との連携の重要性 【課題】 ・小郡地区における福祉員の活動内容 ・民生児童委員と福祉員の連携 ・地区自治会への民生児童委員、福祉員の理解度 ・福祉員への情報不足 ・自主防災組織不十分のため、緊急連絡網、避難訓練、要支援者の徹底 ・新興住宅地の高齢化	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
15	萩市	川北地区			○			民生委員の資質向上 県立大学で研修を行い、大学の地域における役割について学習	【成果】 国立大学と県立大学との山口県における建学の立場の違いがよく理解できた。
16	萩市	三見地区					○	(日時) 平成29年10月18日 (参加人数) 三見地区民児協 9名(全員) 須々万地区民児協 11名 (内容) 三見地区においては、高齢者の支え合い事業及びこれの推進のための地区社協設立に向けての取組中であり、須々万地区の「地区社協と民児協との関わり方」及び「児童の健全育成、子育て支援」ぴりりクラブについて主としてご教示いただくべく訪問をしました。 その資料として「須々万地区社協だより」「地区社協・福祉のまちづくり計画」「須々万夢プラン」「周南市もやいネット推進事業」「周南市民児協情報誌 民児協だより・かけはし」等頂き、すばらしい活動状況をお話いただき、大変参考になりました。	【成果】 民児協・地区社協等の活動の状況を詳しく御教示いただき、参考になった。 【課題】 三見地区民児協の後進性を認識させられ、今後少しでも追いつくべし努力したい。
17	萩市	田万川地区			○			①相続問題学習会 ながたに法律事務所の長谷弁護士を講師に迎え、実際に起きた事例やトラブルにならないための方策などを学んだ。 ②消費者トラブル研修会 山口県消費生活センター「まなべる」に出向き、消費者トラブルの体験とセンター講師による未然防止の方法について学んだ。	【成果】 弁護士からの事例を聞き、相続トラブルに遭った際に対処法や相談の仕方などが分かり、民生委員としての相談を受けた際にどう対応の仕方なども学習できた。 電話や相対による消費者トラブルの体験や、対処法を学べ、勧誘の実態などが学べ、今後の民生委員としての活動に役立った。
18	防府市	小野地区	○	○				挨拶運動で地域全体で、住みよい郷づくりに努めると共に、地区内の諸団体と協調性を持ち、理解を深め、活性化に取り組む。 ・各団体との研修会 5回 ・小中学校 PTA合同研修会 3回 ・民生定例会 2回	【成果】 「あいさつ標語の募集」を広く、地区住民より募集し、優秀作品には表彰(11月12日 小野ふれあい祭り)するのぼり旗を各地区に立てる。 【課題】 地域活動を通して人間関係が豊かになり、世代交流に繋がっていく。

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・推進	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
19	防府市	右田地区	○	○	○		○	<p>平成28年11月の交代で24人中16人が新任であった。そのために地域社会で活動や判断が円滑に出来るための知識及び人関係作りを構築していくことが大切であると考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月の定例会の充実 <ul style="list-style-type: none"> 事例研修や事例発表(毎月第2金曜日) ○三校連絡協議会「小学校二校・中学校一校」(9月) ○社会福祉施設訪問(7月) ○研修旅行(10月) ○右田社会福祉協議会行事への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・右田社会福祉協議会評議員会(4月) ・福祉員友愛訪問グループ員合同研修会(5月) ・右田地区敬老会(各地区で実施9月) ・右田地区文化祭(10月) ・白いまりの日(11月) ・福祉弁当(12月) ・ふれあいまちづくり研修会(1月) ○各種研修会への自主的参加 	<p>【成果】 最初は民児委員の仕事内容や社協との連携等の理解不足と民事委員の役は順番なので仕方ない感があって自主研修は不参加が多かった。最初から無理をさせないことと気楽な気持ちで訪問等を実施することと民児協の中で人間関係構築に努めた。目に見える成果はないが私自身が仲間を観察するに満足している。</p> <p>【課題】 研修会等には自主的参加を希望する。24人中11名が助成なので無理の言えないところがある。</p>	
20	防府市	華浦地区	○	○	○	○	<p>(活動強化事業として)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者見守り活動を徹底するため、毎月の民児協定例会に南包括支援センター職員の方に出席していただき、情報交換を行った。 ②華浦地区福祉関係者の啓発研修会実施 H30年3月29日開催 参加人員46名 ③児童育成・子育て支援活動の推進 ☆年2回(7月、12月)開催している桑中健全育成協議会を充実する目的で定例会へ教頭先生、学年主任に参加していただき、問題児の情報交換を行った ☆桑の華ネット、見守り隊、子供育成会行事へ積極的に協力した。 	<p>【成果】 防府市作成の避難行動要支援者名簿を安否確認用に受け取ることにより、日常の支援が必要な高齢者、障害者が漏れなく把握でき福祉関係者との連携が容易になり、活動意識が強化された。</p> <p>【課題】 一人暮らしの高齢者の病气入院、施設入所の情報が入り難い。小中学校の生徒見守り活動は学校側が情報を出さないことが多く、後で知ることが多い。</p>		
21	下松市	西豊井	○	○	○		<ol style="list-style-type: none"> (1)愛のバザーへの参加、協力 中央公民館ふれあい祭りへの参加、協力 (2)保健推進委員との意見交換(29年9月14日) 地区民児委員(6名)による小中学校登校時における交通安全立哨 (3)ア 長門 みのり園への視察研修(29年4月27日) 下松 星ひろばへの視察研修(30年3月23日) <p>イ 高齢者実態調査 敬老祝い金配布</p> <p>ウ 西豊井地区におけるふれあいサロン、ゆうゆうサロンの実態調査</p>	<p>【成果】 定例会日に於いて毎回下松小、中学校の生徒指導担当教師に来て頂き、意見交換、情報交換を行い非常に役に立っている。高齢者児童に対し声かけ、見守り等も委員それぞれ自覚をもって行っている。</p> <p>【課題】 資質向上の研修がややマンネリ化していると感じられるのが問題と思われる。</p>		

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	地区民児協同士の交流事業の実施		
22	下松市	米川地区	○		○			<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の福祉団体との連携 地域包括ケアシステムにおける生活支援体制事業への協力 協議体会議(6/13,7/26,9/12,11/1,2/13) 地区社会福祉協議会活動への協力 各種会議(8/28,9/22,10/12,10/13) ・安心を届ける活動 『高齢者のためのてびき』内容変更に伴う差し替え 全戸設置ファイル250部の差し替え実施 ・資質向上のための研修 100周年活動強化方策についての研修実施 	<p>【成果】 地域内諸団体、地区社協との連携を通じ、新たな活動に取り組みことで横のつながりが出来た。また、地区民協独自の取組をすることで住民と接する機会が増え親近感が増した。100周年強化方策の内容を把握することで活動の方向が共有された。</p> <p>【課題】 他地区との交流活動を進め質の向上を図る。</p>
23	光市	第5地区			○		○	<p>平成29年11月14日(火) 10:00~11:30 場所:山口県セミナーパーク 講座:介護入門講座 受講 参加人数:8名</p>	<p>【成果】 介護についての基本的な事柄を分かりやすく、丁寧に教えていただき、非常に良かったと思う。</p> <p>【課題】 今後も福祉について、積極的に受講したいと思った。</p>
24	岩国市	本郷地区	○					<p>日時 平成29年6月29日(木) 午後1時30分~午後3時30分 場所 本郷ふるさと交流館 参加者 50名 実施内容 本郷町全戸に防災講座開催のパンフレットを配布し周知を行うと共に、老人クラブ等に協力をお願いし、集中豪雨・土砂災害を体験され、自主的な被害者支援を展開されている講師を迎え講演を行った。 民生委員として、超過疎化の地域の現状を踏まえながら、集中豪雨・土砂災害時の対応と災害時の支援をどのように対処していったらよいか考え、お年寄りの方に災害時の意識改革を行う機会とする講演を開催した。</p>	<p>【成果】 本郷町全戸に講演開催のパンフレットを配布したが、老人クラブ会員と少数の地元の方による講演となった。この地域は大きな災害が起きることが無く過ごしているが、災害の恐ろしさを痛感させる機会となり、いつどこで起きるかもしれない事柄に、住んでいる場所、地理的なこと等を思い起こしながらどのように対処したらよいかを考える良い転機となった。 民生委員創立100周年をPRさせて頂き、民生委員の必要性を参加者の皆さんに伝えられる講演会となり良かったと思う。</p> <p>【課題】 平日の開催と高齢化率の高い地域でもあり、交通の不便さも大きく左右し、講演の参加者が少なかったのが残念だった。どのようにして参加者を増やしていくか考えなくてはいけない。民生委員による地域での活動と参加者の勧誘を積極的に展開する必要性を痛感させられ、今後活かしていきたい。</p>

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
25	岩国市	玖珂地区	○					<ul style="list-style-type: none"> ・見守りのしくみづくりと問題点の早期把握 ・問題点を把握したら対応チームを作り早期に解決を図る ・民児協の定例会議で問題点と解決方法などを話し合い、すべての委員の資質の向上を図る。 	<p>【成果】</p> <p>小地域福祉活動の推進者である「福祉員」や近隣住民と会合を持ち、真に見守り支援を要する住民を抽出してのネットワーク立ち上げができた。</p> <p>民児協の定例会議などで情報交換等を行い、委員の資質の向上を図った。</p> <p>それにより対象者の生活状態、問題点などが的確に把握でき、関係機関等への迅速引継ぎが出来るなど、成果を上げることができた。</p>	
26	岩国市	由宇地区			○			<p>○地区民児協組織体制の強化</p> <p>・実施日平成29年10月17日</p> <p>民生委員児童委員の活動の一つである見守り活動について力を入れて取り組んでいる阿知須地区の民児協と研修を行い、どのような方法で見守り活動を行っているのか、活動に至るまでにどのような手順で進めていったのか、福祉員や関係機関、地域住民とどのように協力して行っているのかについて学んだ。</p> <p>・民生委員間での協議の実施・・・5回</p> <p>視察研修後、由宇地区の民生委員児童委員協議会で話し合いを行い、今後の活動について協議を行った。その結果、定例会後に定期的な事例検討会や由宇地区部会での活動の強化など委員が主体となって意見を話し合いお互いの連携と資質向上に取り組んでいる。</p>	<p>他地区の民生委員児童委員協議会との研修を行うことにより、様々な方法や考え方で地域に取り組んでいる事例を学ぶことができた。また、他地区の活動を参考にし、由宇地区での民児協の活動においても課題や事例についての情報交換や協議に各委員がこれまで以上に説教的に取り組むようになった。</p>	
27	岩国市	通津地区			○			<p>①日時：平成29年6月27日(火)9:30～</p> <p>場所：岩国市防災学習センター</p> <p>参加者：通津地区民生児童委員 12名</p> <p>内容：地域の防災意識を高めるため、防災施設が整っている学習館で「地震・煙の中での避難・唱歌」災害に対する知識、技術、行動力を体験学習しました。</p> <p>②日時：平成29年7月14日(金)10:30～</p> <p>場所：通津供用会館</p> <p>参加者：通津地区民生児童委員 12名+地区福祉員 17名 計29名</p> <p>内容：民生児童委員と福祉員との合同で人権啓発講師をお招きし人権について学習しました。</p> <p>③日時：平成29年10月26日(木)</p> <p>場所：広島市安佐北区可部 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘静養園</p> <p>参加者：民生児童委員 10名と福祉員 9名合同 計19名</p> <p>内容：お年寄りが生き甲斐をもって、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、高齢者の介護福祉、医療を通じ優しい地域作りに向けた活動に取り組んでおられる。</p>	<p>①成果：防災学習では、模擬体験を通じて災害に対する知識行動力を身につけた。</p> <p>課題：地域の危険箇所を事前に確認、「もしも」の災害に地域全体で備える必要がある。</p> <p>②成果：学習により男女間、子ども、高齢者等人権侵害について改めて考える機会となりました。また自分と周りの人にやさしい気持ちになれた時間でした。これからの活動に大変参考になりました。</p> <p>課題：高齢者が安心して暮らせる社会にしていきたいものです。</p> <p>③成果：施設での活動、取り組みで培われた経験や知識を学ぶことができた。</p> <p>課題：高齢化が進む中、多様化する問題を抱える高齢社会の中で、地域での高齢者との対応等に研修で学んだことを活かした地域福祉活動に努めていきたい。</p>	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動	地区民児協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
28	岩国市	師木野地区			○			<p>4/28・H30.3/5 桂野小ボランティア会議 延人数 38名 年2回 サロン活動 各地区で年6回 延人数 127名 6/8 民生委員、福祉員研修(呉 あすなる荘 養護老人ホーム) 13名 6/19 児童養護施設“はるか”視察研修 7名 7/6 高齢者施設“ハートリング”視察研修 8名 8/7・8/21 旧柱野中、柱野小グラウンド草刈り、掃除 延人数 120名 8/22・12/20 三世代交流 料理教室 しめ縄づくり 延人数 110名 10/12 民生委員研修(庄原社協) 6名 12/2 5地区民協交流研修 38名</p>	<p>【成果】 民生委員、福祉員との合同研修で高齢者への接し方などをより身近に話し合うことができた。三世代交流では高齢者の方達より子供達との交流で元気がもらえたと喜んでもらえた。社協研修では参考になることが多くあった。</p> <p>【課題】 高齢化がすすむ中、いろいろな問題が出てきます。施設訪問や他地区社協、他地域の民生委員の方達との交流で、色々な知識や判断など学ぶことが多かった。高齢者や子供達の幸福のために学びを生かしていきたい。</p>	
29	長門市	仙崎地区		○	○	○		<p>1)小・中学生の登下校時の見守り活動 ～適宜 2)施設訪問研修 9/5 周南市:就労継続支援A型事業所 よろこび 3)担当地区委員の増員について ～6/14,1/14,2/14,3/14,3/24</p>	<p>【成果】 1)小・中学生の登校時見守り、安全確認ができた。 2)周南市訪問により本市にはないA型事業所を見聞できた。 3)民生委員の増員について地区委員の意思統一ができた。</p> <p>【課題】 委員の増員については今後、関係機関に説明し、同意を得て要望していきたい。</p>	
30	長門市	油谷地区			○		○	<p>地域の障害者施設への研修施策に参加することで、地域のニーズを把握するとともに、より専門的な知識・支援を効果的に展開するための技法を修得することで民生委員としての資質の向上を図る。</p> <p>平成29年7月15日 社会福祉法人あけぼの園視察研修 平成30年1月17日 長門市障害者支援センター・友愛センター視察研修 参加15名</p> <p>他地区民児協からの視察研修を受け入れ、積極的に意見交換をすることで、お互いの成果や課題を認識するとともに、他地区の活動を参考に新たな発見をし、今までの取り組みを更に発展させ、新しい活動に繋げるよう努める。</p> <p>平成29年10月12日 佐賀県唐津市鎮西地区民児協からの視察研修受け入れ 参加者7人</p>	<p>油谷地区の障害者施設に研修に行くことで、地域の障害者の実態を把握することができた。また施設職員から説明を聞くことで、多くの専門的な知識を得ることができ、民生委員としての資質向上につながった。</p> <p>他地区民児協との交流を図ることで新たな発見をし、今後の活動の参考になった。</p> <p>今後も様々な機関・団体と連携し、地域福祉の向上に取り組みたい。</p>	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
31	柳井市	平郡地区	○	○			<p>◎資質向上のための事業</p> <p>1. 各制度研修 【目的】 介護保険制度等の各種制度について、現況と今後の制度改正等を研修し把握することで、民生児童委員活動の糧とする。 【内容】 当地区は離島であるため、本土サービス事業等利用できない。地域の限られた支援体制の効率化について、各関係機関と意見交換し福祉サービスの向上を図る。 2. 福祉施策研修 【目的】 福祉施策に関する研修会等に参加し、最新の情報を得る。 【内容等】 各種機関が主催する福祉に関する各種研修会に参加 3. 協議会 【目的・内容】 各自が抱えている問題や事例について報告し、解決に向けた情報交換をする。</p> <p>◎普及・啓発のための事業</p> <p>1. 子育て支援・世代間交流活動推進事業(活動支援事業) 【目的】 子どもから高齢者まで世代を超えた住民同士のつながりを深め、地域の活性化を図ることにより地域福祉の推進・発展に寄与する。 【内容等】 ①平郡東小学校児童クリスマス会・ひとり暮らし高齢者クリスマスプレゼント訪問 平成29年12月17日(日) 参加者 15人 訪問数 42戸 ②ひな祭り集会 平成30年3月3日(土) 参加者 児童・地区高齢者 40人</p>	<p>◎資質向上のための事業</p> <p>1. 各制度研修 【成果・改善点】 当地区は超過疎化の高齢化の著しい離島であり、一人暮らし高齢者が多い。現在は地域住民が相互の協力により生活が維持されているが、今後の支援方法が大きな課題である。 2. 福祉施策研修 【成果・改善点】 離島で過疎・高齢化の進む平郡島においては、社会福祉に関する知識は不可欠であり、研修で新しい施策情報等を習得できたので、地域での民生児童委員として支援活動に活かしたい。 3. 協議会 【成果・改善点】 委員一人で問題を抱えず、地域内の状況に応じた支援方法を委員が共有することで、問題の処理を行ってきた。</p> <p>◎普及・啓発のための事業</p> <p>1. 子育て支援・世代間交流活動推進事業(活動支援事業) 【成果】 ひとり暮らし高齢者宅の訪問はサプライズであったが大変感謝され喜ばれた。ひな祭り集会は、児童と高齢者とのふれあいが出来大盛況だった。 【課題】 継続的に実施したいが財源の確保が困難である。 男女関係なく高齢者が参加できる事業を考える必要があった。</p>	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動 の推進に関する調査	地区民児協同士の 交流事業の実施		
32	柳井市	阿月			○		<p>◎資質向上のための事業</p> <p>1. 各制度研修 【目的】 超高齢社会で深刻な問題となっている「認知症」を学び理解する事により認知症高齢者との接し方、介護者である家族の気持ちを理解し地域の関係機関と連携し見守り支え合っていくことを目的とする。 【内容】 ①事業所の認知症専門職員による「認知症」の理解と知識を深める研修を4回実施 ②認知症ひとり歩き捜索模擬訓練</p> <p>2. 視察研修 【目的】 他地区の民生委員と合同で視察研修を行い、現状を把握し委員の資質向上を図る。 【内容等】 障害児入所施設「はなのうら」・障害者支援施設「華の浦」の視察</p> <p>3. 月例会議 【目的・内容】 毎月定例の会議を開催し、各自が抱えている問題や事例について報告し、解決に向けた情報交換し解決に向ける。関連機関から情報提供を受ける。</p> <p>◎普及・啓発のための事業</p> <p>1. いきいきサロン 【目的】 福祉員さんと一緒に地域住民とのふれあいの場、交流を図る。 【内容】 2か所で開催 毎月1回 毎週第1木曜日(相浦集会所) 年4回(無動寺)</p> <p>2. 朝市いきいきサロン 【目的】 地域活性化協議会と連携し、地域の活性化に繋げるため、朝市&サロンの運営に協力する。 【内容】 毎月第3日曜日(阿月公民館前)</p> <p>3. 民生委員制度創設100周年記念事業 【目的・内容】 阿月地区民児協の名称入りブルゾンを揃え、民生委員・児童委員活動時に着用。また、交通立哨時や朝市、老人給食の配布時に着用しPR活動を行った。</p>	<p>◎資質向上のための事業</p> <p>1. 各制度研修 【成果】 認知症は予防することが大切で、疑わしいと思ったら医療機関や地域包括支援センター等の専門機関に相談し早期発見に努めることが必要であることが分かった。また、認知症例はその数が多く各々の症状に対応するのは難しいが、各症状の知識を深めることができ、認知症の人やその家族への支援方法を学ぶことができた。その成果もあり地区内で知らない高齢者や日頃見かけない高齢者に対する「声かけ」が芽生えつつある。 【課題】 ・認知症の人への声かけや話し方の難しさがある。 ・認知症の人にやさしい地域づくりは地区内の身近な社会資源等活用し地域の実情に合った組織づくりをすることが必要である。 ・家族が認知症であることを隠したがる傾向がみられるため、地域住民に認知症に対する理解を求める努力と啓発活動が必要である。</p> <p>2. 視察研修 【成果】 新しく建て替えられた施設は、特殊浴槽、リフター、広い廊下幅など障がい者に配慮した設備が整備されており、また防犯カメラや耐震構造、非常用自家発電など防犯・防災にも対応していた。居室は、全室個室でプライバシーに配慮した造りになっていた。最新の施設を視察することで相談支援の際の知識を深めることができた。</p> <p>3. 月例会議 委員一人で問題を抱えず、情報交換し、関係機関と連携することで問題を解決することができる。</p> <p>◎普及・啓発のための事業</p> <p>1. いきいきサロン 【成果】 民生委員が中心となり、地域内での支援者と共に行われ、支援者との連携・見守り・情報交換と図る。</p> <p>2. 朝市いきいきサロン 【成果・改善点】 情報交換ができ、住民の様子がよくわかる。参加者が増えるよう広く住民に声かけしていきたい。</p>	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修 の実施	民生委員・児童委員の活動 活動	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
33	美祢市	豊田前地区	○						<p>○自治会単位又は民生委員・児童委員担当地区を単位として住民・福祉員・自治会役員等と連携を図り、地域で見守りと訪問活動ができる体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉員との交流 ・関係機関との情報交換・連絡体制 ・ネットワークづくりについての共通理解 ・災害時の関係機関及び支援者等との連絡網の構築 	<p>【成果】 地区社協や福祉員との連携については一定の成果が得られた。</p> <p>【課題】 災害時又はおそれがある場合の体制についてとまどうことがあった。</p>
34	周南市	周陽地区	○		○		○	○	<p>(1)地区定例会 実例研修・検討 毎月第2水曜 10:00～11:30 13名</p> <p>(2)周陽地区-須々万地区民児協交流研修会 10月11日 10:00～13:00</p> <p>(3)周陽・秋月・桜木3地区民児協1日研修 11月11日 10:00～11:30</p> <p>(4)(株)マリコム 緊急通報システム研修 1月10日 15:30～17:00 12名</p> <p>(5)周陽地区民児協主催「知って安心！ 成年後見制度」講演会 3月10日 10:00～13:00 民児協 12名・一般 41名 計53名</p>	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)定例会の実例研修で実践的な対応の習得 (2)地区間交流会を研修会に変更し、意見交換により見識の向上 (3)消防の防災研修により災害時の要支援者の支援を強化 (4)緊急通報システムの仕組みと現状を研修し、地域福祉に役立てられた。 (5)高齢化社会を迎え、判断能力に支障がある人の支援方法を習得 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)民生委員・児童委員の資質の向上のため専門的な研修を年間計画に基づいて行う必要がある。 (2)地域福祉のために、一般の人を対象とした講演会を定期的に行う必要がある。
35	周南市	関門地区		○					<p>平成29年8月3日 子育てサロン支援がはは本舗「お屋さんごっこ」 参加子ども人数 24人</p> <p>平成29年12月7日 子育てサロン支援「人形劇と手遊び」 参加子ども人数 15人</p> <p>平成29年12月15日 徳山小学校1年生とふれあい餅つき大会 参加児童 120人・民生委員 12人参加</p> <p>平成30年2月13日 須々万地区 秋重主任児童委員による子育て支援活動についての講話、話し合い</p>	<p>【成果】 児童福祉子育てサロン支援活動の充実 他地区主任児童委員の子育てサロン活動状況の研修</p> <p>【課題】 児童福祉活動を他団体と連携して推進していく。</p>
36	周南市	菊川地区	○	○					<p>(1)ふれあい・いきいきサロンの支援 菊川地区で活動している14のふれあい・いきいきサロンの活動が、一層活発になるよう、各サロンへ4,000円を配布し、活動資材等の購入の支援をした。</p> <p>(2)放課後子ども教室“きくがワハハクラブ”支援 約40人(小1～6年)を対象に、毎週水曜日、14:30～17:00に指導員約10人と菊川市民センターでの活動が、一層充実するよう、4,000円を配布して、教育指導用教材の購入の支援をした。</p>	<p>【成果】 支援額は少なかったが、サロン、クラブの担当者から、助かりましたとの、お礼の言葉をいただいた。実施して良かったと思う。</p>

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動	地区民児協同士の 交流事業の実施		
37	周南市	向道・長穂地区			○			<p>日時:平成29年11月16日(火) 13:30~15:30 参加人数:10名(民生委員8名、主任児童委員2名) 実施内容:周南市より小型バスで岩国に移動し、岩国市が一望できる岩国城より地形や市内を流れる河川・交通網等を実際に見て確認した後、防災センターにて災害の模擬体験及び防災講習を受講</p>	<p>【成果】 ・洪水、高潮、津波、土砂災害など過去実際に起きた災害や岩国市に潜む災害の恐ろしさや早期避難の大切さを防砂シアターにて、壁・床・スクリーンで迫力ある映像による棒愛対策を学んだ。 ・模擬体験では、煙が充満した空間から避難する煙避難体験、消化器を使用したの消火訓練、緊急や火災時の119番通報、東日本・阪神淡路大地震クラスの地震体験等を通して、もしもの時に備えるための基礎知識を学び、「自分の命は自分で守る」意識が高まった。</p> <p>【課題】 学んだ基礎知識をもとに、自分たちの住む地域に潜む災害や避難毛糸の確認を家族、自治会、地域等で具体的に話し合い、「いざ」という時に備えて避難訓練、消化訓練等防災訓練を実施し、近く起こるであろう“東南海地震”に対し、的確な行動がとれるよう住民一人一人の防災意識の向上が必要である。過疎化により、高齢者ばかりの集落もあり対応に苦慮するところである。</p>
38	周南市	鹿野地区	○				<p>【目的】 ①地域の健康づくり、介護予防の促進 ②民生委員が係ることで、連帯感の強化、孤立防止</p> <p>【事業内容】 健康づくりアドバイザー恵美寿先生による転ばない体づくり 西河内サロン:3月1日 スポーツインストラクター岩倉先生による筋まくりリリース 清流の会:6月1日 スポーツインストラクター岩倉先生、健康づくりアドバイザー恵美寿先生を派遣し、高齢者の介護予防、健康づくり等、無理の内容で、自宅で継続できることを習う。 相性サロン:8月10日 岩倉先生 プチサロン:7月4日 岩倉先生 上野サロン:6月26日 岩倉先生 水仙悠々サロン:8月19日 恵美寿先生 共ともサロン:5月30日 岩倉先生</p>	<p>講師の派遣をきっかけにサロンで健康づくり、介護予防を具体的に薄めるヒントになる。内容に苦慮する代表にとって好評である。</p>	

平成29年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・推進	民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査活動	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
39	山陽小野田市	第3地区	○					<p>モデル地区を決定し、その地域の健康体操・サロンを支援する。</p> <p>○健康体操・サロンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象に回覧で案内を発信し、実施した。 ◆健康体操 毎週木曜日 13時30分～ サロン 第4木曜日 10時～ <p>【参加者数】</p> <p>体操 15名～18名ぐらい</p> <p>サロン 18名～23名ぐらい</p> <p>【実施内容】</p> <p>飲食物を用意し、ゲーム等(脳トレ・ビンゴゲーム・ビンゴボードなど)を参加者と一緒にに行い、楽しい時間を過ごす。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会内の高齢者の参加が増し、いきいきとした笑顔で会話をされる姿を見ていると立ち上げてよかった。 ・参加者と同じ時間を過ごす中で民生委員として、地域の実情を把握するあめのいい機会にもなった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会館で実施をしているが、「参加したいが、遠くて歩いていけない」との声があり、どのように対処すればいいか検討中であること。 ・今回はモデル地区を決めて実施したが、このような活動を地区内の各地域で実施できるように推進していくこと。 	
40	和木町	和木町	○					<p>平成29年6月3日(土) 和木町保健相談センター</p> <p>民生委員児童部会 8人</p> <p>赤ちゃんから小学生低学年の親子連れ「すくすくフェスタ」に参加</p> <p>バルーンを子供達や親御さん達とうさぎ・うま・白鳥等を作り、持って帰ってもらった。</p>	<p>【成果】</p> <p>大人気のブースになった。</p>	